

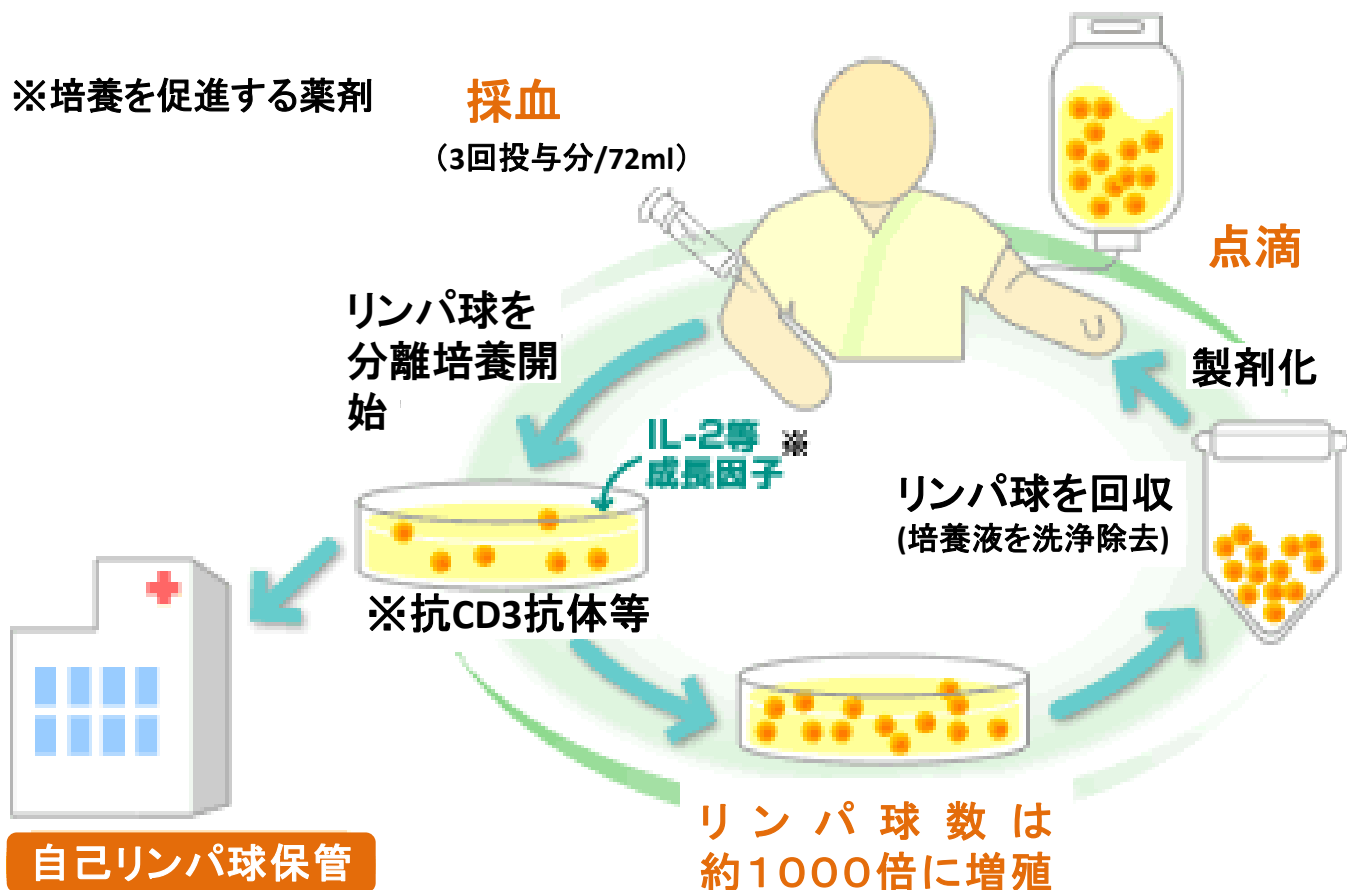


ハイパーT・NK療法

ハイパーT細胞・NK細胞・成熟活性化Tリンパ球
を併用投与する最新のがん治療

治療の流れ

患者様本人の血液からがんを攻撃するリンパ球を培養し、約1000倍に増殖・活性化して、点滴投与する治療です。



初回 : 2週間後

2回目 : 3週間後

3回目 : 4週間後

4回目 : 5週間後

5回目 : 6週間後

6回目 : 7週間後

1回目の来院 カウンセリング・採血

医師より治療について詳しく説明させていただきます。
患者様の年齢や治療部位、がんの進行度などを考慮して治療スケジュールなども決定します。
治療について十分理解していただけたら、感染症の血液検査を行います。

2回目の来院 初回リンパ球点滴投与 (2週間後)

患者様ご自身の増殖・活性化したリンパ球を点滴投与します。
採血から2週間の間に約1000倍にリンパ球は増えています。

3回目以降の来院 合計6回のリンパ球点滴投与 (1週間ごと)

合計6回を1クールとし、約100億個以上のリンパ球が投与されます。

免疫機能向上による再発予防・QOLの改善、 他の治療との併用により効果を最大限に高める 治療です。

免疫細胞療法とは、事実上『免疫細胞』対『がん細胞』の戦いなのです。

1cmのがんは5億個のがん細胞を持っており、10cmのがんは実に5000億個のがん細胞を持っています。

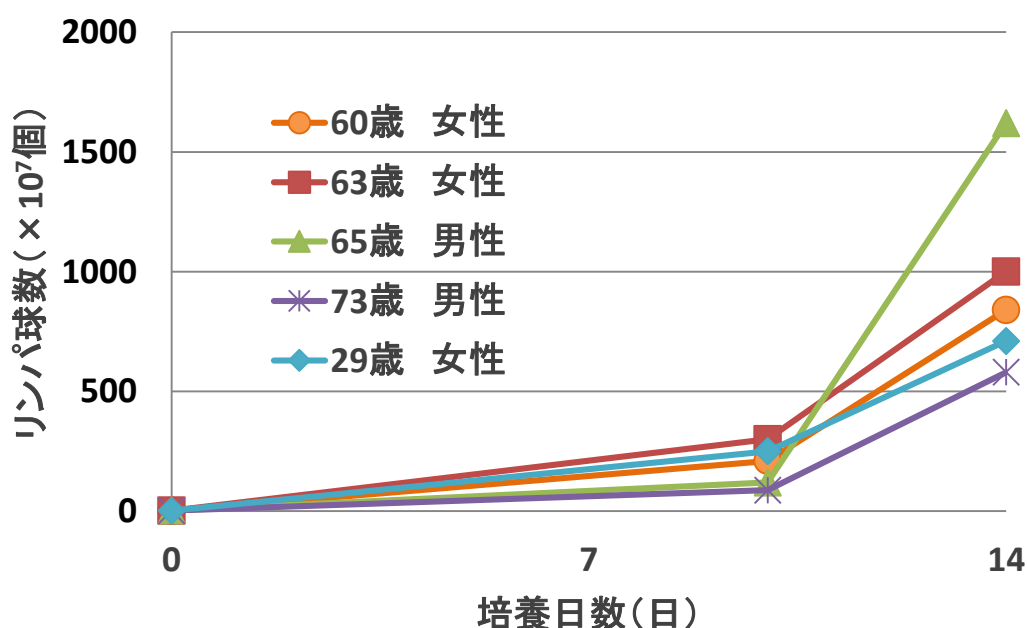
したがってこの無数のがん細胞に対抗する為には、

- ・NK細胞のキラー(殺傷)能力、
- ・成熟Tリンパ球の免疫強化能力、
- ・多機能・万能性を秘めたハイパーT細胞

を併用することが非常に有望な免疫細胞複合療法なのです。

患者様ご自身の血液を培養して使用しますので、副作用のほとんどない体に優しい治療法です。

リンパ球の増殖曲線例



・オーダーメイド医療

患者様や症例に応じて、培養や治療スケジュールが異なる完全なオーダーメイド医療を実施します。

・副作用の軽減

培養は全て患者様ご自身の血液を使用して行います。通常、よく用いられるヒト血清アルブミンなどは一切使用しません。
そのため、副作用による苦痛はほとんどありません。

よくあるご質問

Q1. ハイパーT・NK療法とは何ですか？

- A. 患者様ご自身の血液からリンパ球を培養して、がん治療・再発防止・QOLの改善を行う治療方法です。
がんを攻撃する様々な細胞を併用投与する最新の治療方法です。

Q2. 他の医療機関の活性化リンパ球療法との違いは何ですか？

- A. 通常の活性化Tリンパ球療法は成熟Tリンパ球を投与する治療です。
これに対して、当治療は成熟Tリンパ球に加えて、最近注目されている2つの細胞を併用投与する複合療法です。
1つは、抗原の感作なしに直接腫瘍細胞、ウィルス感染細胞を攻撃するNK(ナチュラルキラー)細胞です。
もう1つは、非常に若いTリンパ球の集団(ハイパーT細胞)です。
アクティブでポテンシャルの高い非常に若いTリンパ球は多機能、万能性を保持しています。投与後の寿命が長く、がんを攻撃するための様々な細胞に分化する能力を持っています。

Q3. どのくらいの頻度で投与しますか？

- A. 通常の1ヶ月に4回程度の投与を行います。数年間継続する場合もあります。
患者様の症例に合わせたオーダーメイド治療を実施しますので、頻度や期間に関しては、専門の医師とよく相談してください。

Q4. 他の治療と併用することは可能ですか？

- A. 可能です。
全身温熱療法など、他の治療法との総合的な併用は、その効果を最大限に高めると考えています。

Q5. リンパ球を保管しておくことは可能ですか？

- A. 可能です。
化学療法、放射線療法や手術の前にあらかじめ採血をしておき、必要な時に培養してハイパーT・NK療法を受けることができます。

免疫細胞複合療法とは

